

2025年3月24日

医療従事者向け：带状疱疹ワクチンの定期接種開始にあたっての注意喚起

公益社団法人 日本臨床腫瘍学会

理事長 南 博信

このたび、厚生労働省は2025年4月より带状疱疹ワクチンを定期接種として位置づける方針を発表しました。日本臨床腫瘍学会では、2024年2月に発刊した「発熱性好中球減少症診療ガイドライン改訂第3版（以下：FNガイドライン）」において、がん薬物療法を受ける50歳以上の患者に対して組換え带状疱疹ワクチンの接種を推奨しています（CQ20参照）。そこで、带状疱疹ワクチンの定期接種の開始にあわせて、医療従事者の皆さまに特に注意していただきたい点をお知らせします。

- ・ 定期接種で選択できる带状疱疹ワクチンは、生ワクチンの「乾燥弱毒生水痘ワクチン（ビケン）」とアジュバント配合不活化ワクチンである「乾燥組換え带状疱疹ワクチン（シングリックス筋注用）」の2種類です。そのうち前者の生ワクチンは、明らかに免疫機能に異常のある疾患を有する者及び免疫抑制をきたす治療を受けている者に対する接種は禁忌とされていますのでご注意ください。